

主語と述語の対応をみる

めあて 主語と述語の対応を確かめ、文のねじれを正して直す。

一 次の文は、主語と述語が正しい対応していません。どのものが直したものかやさしくやさしく。条件はどのように書きなさい。

私の将来の夢は、病気で苦しむ人々を助ける医者になったのです。

☆主語と述語を抜き出し「おれ」を下線だ感じがします。

(1) 主語のまわりのもののおまじない、述語を直す。

私の将来の夢は、病気で苦しむ人々を助ける医者になりました。

(2) 述語のまわりのもの、主語のまわりを直す。

(私は将来)、病気で苦しむ人々を助ける医者になりました。

11. 主語と述語が正しく対応した文にするには、どのものは直したらよいか、教えてみませんか。

(1) 練習したおかげで、私は友達から「ふくろ上手になつたね」と頷きました。

(例) 練習したおかげで、私は友達から「ふくろ上手になつたね」と頷かれてました。

(2) 私の短所は、一つのことに夢中にならぬ、ほかのことが見えなくなることが私の短所です。

(例) 私の短所は、一つのことに夢中にならぬ、ほかのことが見えなくなることが私の短所です。

(3) ヒの本から学んだりとは、練習をしたりやるの大切を学びました。

(例) ヒの本から学んだりとは、練習をしたりやるの大切を学びました。

★ 主語と述語が対応しない文を直してください。(◎ ○ △)

● 1文が略したもので、主語と述語が違うやうの文を直してください。

● 國語の並列文でない、他の教科で、主語と述語は原則として並列しない場合があります。

外観

6年 理科⑩ 教科書 P.48~50
月 日() 年組 番名前

3 食べたもののゆくえ

人は、体に酸素をとり入れるだけでなく、食べ物のから養分や水をとり入れています。

問題 ご飯は、口の中でだ液と混ざると、どうなるのだろうか。

ア 経験したことや学んだことから、予想しよう。

乙 ご飯をかんでいると、あまり感じなくなつたから、デンブンが変化すると思う。

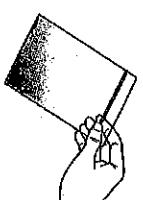
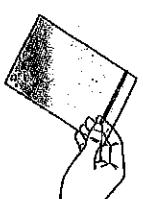
イ デンブンとだ液のはたらきの関係を調べよう。

① 2つのふくろに、ご飯を一つづつ入れて、ふくろの上から指でつぶす。

② ストローを使って一方のふくろにはだ液を入れる。もう一方には、だ液と同じくらいの量の水を入れる。ふくろの上からよくもむ。

③ 湯を入れたビーカーに、2つのふくろを入れて、約3分間待つ。ふくろを湯からとり出し、ふくろの上からよくもむ。ふたたび湯を入れて、約3分待つ。

④ 2つのふくろを湯からとり出し、それぞれヨウ素液を1, 2でぎずつ加えて、色の変化を比べる。
(ご飯にだ液をえたもの)
(ご飯に水をえたもの)



ウ 教科書P.50を参考にして、結果からいえること(考察)を書こう。

だ液を加えたものはデンブンがなくなっているから、別のものに変わったと思う。

など

エ ()に当てはまる言葉を書き、わかったことをまとめよう。

● ご飯にふくまれる(デンブン)は、口の中でだ液と混ざって、デンブンではない(別のもの)に変化する。

● 食べものが齒でかみくだられて細かくなったり、だ液のはたらきで変化したりして、体に吸収されやすい養分に変化することを(消化)という。

● だ液のように消化に関わるはたらきをする液を(消化液)という。

東山小5/2版③

6年 理科① 教科書 P 51~56

問題

食べ物は、体の中でどのように消化され、吸収されて運ばれるのだろうか。

ア 経験したことや学んだことから、予想しよう。

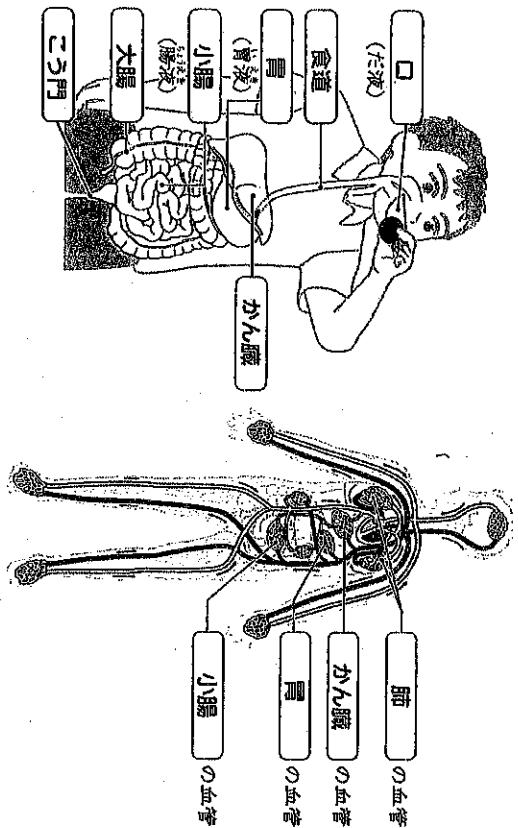
- 消化は、胃でも行われると思う。
- 消化された養分は、酸素などと同じように血液で運ばれると思う。

イ 消化と吸収のしくみをいろいろな方法で調べて分かったことをまとめよう。

◆ 下のようなことを本やコンピュータなどで調べよう。

- 食べものは、口から入って、体のどこを通るか。
- 口(だ液)のほかにも、消化するところがあるか。
- 養分は、どこで体に吸収され、どこへ運ばれるか。
- 吸収されなかつたものは、どうなるか。

ウ 教科書 P 52 を参考にして、□に当てはまる言葉を書き、調べたことをまとめよう。



エ 教科書 P.52, 53 を参考にして（ ）に当てはまる言葉を書いて。

● 口から始まって、（ 食道 ）、（ 胃 ）、（ 小腸 ）、

（ 大腸 ）を通ってこう門に終わる食べものの通り道を（ 消化管 ）という。消化管では、消化に必要な（ だ液 ）、（ 胃液 ）、（ 腸液 ）などの（ 消化液 ）が出される。

● 消化された養分は、水分とともに（ 小腸 ）の血管から血液中に吸収される。

● 養分も、酸素や二酸化炭素と同じように、（ 血液 ）によって全身に運ばれる。

● 吸収された養分の一部は、（ 腎臓 ）にたくわえられ、必要なときに使われる。

● 吸収されなかつたものは（ 大腸 ）に運ばれ、便として体の外に出される。また、血液中で不要になったものは、（ 腎臓 ）でこし出され、余分な水分とともに（ 尿 ）となって、一度（ ぼうこう ）にためられてから、体の外に出される。

● 消化が行われる胃や小腸、呼吸が行われる肺などのことを、（ 臓器 ）という。それぞれの臓器のはたらきで、命が保たれている。

● 臓器は、体の中でたかいで（ 関わり合って ）はたらいている。

オ 結果からいえること（考察）を書こう。

● 養分も血液によつて運ばれていた。臓器どうしが関わり合つて、私たちの命は保たれている。

● 血液には、体に必要なものや、不用なものを見ぶはたらきがある。

カ

（ ）に当てはまる言葉を書き、わかつたことをまとめよう。

● 食べものは、（ 消化管 ）の中を運ばれながら、消化されて体に吸収されやすい養分となり、水分とともに主に（ 小腸 ）で吸収される。

● 吸収された養分は、（ 血液 ）によつて全身に運ばれる。

● 養分の一部は、（ 腎臓 ）にたくわえられ、必要なときに使われる。

● 体の中には、消化・吸収や呼吸、血液の（ じゅんかん ）などのはたらきを行うさまざまな（ 臓器 ）がある。

● 臓器がたかいで関わり合いながらはたらき、（ 命 ）が保たれている。

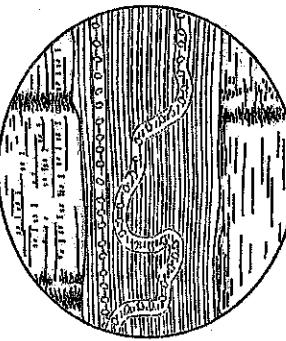
こう門

東山小5/22版⑤

- 深めよう《教科書P.56参照》
- 動物の血液の流れを見てみよう！

メタカのおびれをけんび鏡で観察して、血液の流れを見よう。

教科書P.56を参考にして、スケッチと気づいたことをかこう。



(見書きの気付いたことを自由に書きかせる。)

- 細いくだのうなところを、血液が流れている。
- メタカの体にも、すみずみまで血液が流れている。

など

*動物を観察するときは、傷つけないよう、ていねいにあつかう。

*生きものにさわる前とさわった後には、手を洗う。

*ここまで学習をふり返ってみましょう。

(あてはまるところを〇でかこみましょう。)

- 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかつたものは体の外に出されることがわかった。
- よくわかった わかった あまりわからなかつた わからなかつた 食べたもののゆくえについて、予想したり、結果からいえることを考えたりすることができた。

よどぎこちてきた できなかつた できなかつた

- 食べたもののゆくえについて、考えをもしながら学習を進めることができた。

- よくでききた できた あまりできなかつた できなかつた ひとこと

○ 確かめよう《教科書P.58参照》

- ① () に当てはまる言葉を入れよう。

食べものを体に吸収されやすい養分に変化させることを(消化)といい、口からこう門までの食べものの通り道のことを(消化管)という。

この通り道は、口→食道→(胃)→(小腸)→(大腸)→こう門とつながっている。

- ② 人が吸う空気とはく空気にちがいがあるかどうかを調べるには、どのような方法があるだろうか。

吸う空気とはいた空気をそれぞれぶくろいいっぱいに集めて閉じ、気体検知管や石灰水を用いて調べる。

- ③ 教科書58ページを見ながら下の問について答えよう。

Ⓐ～Ⓖの臓器の名前はそれぞれ何というだろうか。また、それぞれの臓器のはたらきを説明しているのは、A～Gのそれぞれどれだろうか。

	臓器の名前	臓器のはたらき
Ⓐ	肺	A
Ⓑ	心臓	F
Ⓒ	かん臓	G
Ⓓ	胃	C
Ⓔ	じん臓	E
Ⓕ	大腸	D
Ⓖ	小腸	B

④ ジェーンさんは、体育の時間に50mを走りました。走り終わった後、呼吸の回数が増えて、心臓のはく動数も増えました。なぜ、呼吸の回数とく動数が同じように増えたのか説明しよう。

体がいつもより多くの酸素を必要とするため、呼吸の回数が増え、その酸素をいつもより多く運ぶためにはく動数が増えたから。

① ある日、しょうさんは友達と自分の部屋で遊んでいた。しばらくして、部屋に入ってきたお母さんが、「窓を開けて空気を入れなさい。」と言った。なぜ、お母さんはそのようなことを言ったのだろうか。

部屋をずっと閉め切つたままでいたら、どのようなことが心配されるか、考えよう。「酸素」「二酸化炭素」の言葉を使って書こう。

部屋の中の酸素が少なくなったり、二酸化炭素が増えたりして、十分に呼吸ができなくなり、場合によっては異常に悪くなることがある。

② クジラは、ふだんは海の中で生活しているが、呼吸のために、海面に出てくることがある。一方、マグロはいつも海の中で生活していて、呼吸のために海面に出てくることはない。それはなぜだろうか。自分の考えを説明しよう。

クジラは肺で呼吸をしている一方で、マグロはえらで呼吸しているから。

*ここまで学習をふり返ってみましょう。

(あてはまるところを○でかこみましょう。)

- ① 人のからだのつくりとはたらきについて、友達と聞わりながら学習を進めることができた。

よくできた できた あまりできなかつた できなかつた

ひとこと

めあて 家での過ごし方や自分の宝物について、「アイデアスケッチ」に書いてみよう。

自分の「住んでいるところ」「通っている学校」を英語で書いてみよう。

① 伝えたいと思ったことを「アイデアスケッチ」に書いてみよう。

● 住んでいるところ

名古屋

● 通っている学校

東山小学校

● 家でよくする過ごし方 (よくする過ごし方は何曜日なのかも書いてみよう)

サッカー (日曜日)

● 宝物 (お気に入りのもの、場所、動物、衣類)

サッカーボール

② 右のQRコードを読み取りましょう。[Step1]の音声を聞いた後、四つの文を書いて読みましょう。

教科書P.18 [Step1]の絵や写真を見て、文の意味を考えましょう。

③ 自分の「住んでいるところ」「通っている学校」を書いてみよう。

灰色の線ちいねいになぞろう。

● 住んでいるところ

(地名をローマ字で書きましょう。頭文字は大文字にしましよう)

I live in Nagoya in Japan.

● 通っている学校 (学校名をローマ字で書きましょう。頭文字は大文字にしましよう)

I go to Higashiyama

Elementary School.

ぶりかえり ○を付けましょう。

- ① 家での過ごし方や自分の宝物について、「アイデアスケッチ」に書けましたか。
(しっかりと書けた あまり書けなかった まだ書いていない)
- ② 自分の「住んでいるところ」「通っている学校」を英語で書けましたか。
(二つともていねいに書けた 二つとも書けた 二つだけ書けた まだ書いていない)

東山小5/22版⑨

6年生 外国語 Unit2 How is your school life?

Name()

プリント⑨

6年生 外国語 Unit2 How is your school life?

Name()

プリント⑩

めあて 曜日の言い方を思い出し、声に出して読みもう。

- ① 5年生で曜日の言い方を学習しました。右のQRコードを読み取り、声に出して読みましょう。
- ② 「アイデアスケッチ」に書いた「家でよくする過ごし方」は何曜日にしますか？

当てはまる曜日を線で結びましょう。(いくつでも可)

また、線で結んだら、声に出して読みてみましょう。

Sunday

Monday

Tuesday

Wednesday

Thursday

Friday

Saturday

- ③ 5年生で「朝食(どのくらいするのか)」を表す言い方を学習しました。

右のQRコードを読み取り、音声を聞いたら、声に出してみましょう。

いつもしていることは always

よくしていることは sometimes を付けるんだったね！



めあて 自分の「家でよくする過ごし方」「宝物」を英語で書こう。

また、それらを声に出して読みもう。

- ① 右のQRコードを読み取りましょう。Step1の音声を聞いた後、

四つの文を声に出して一度読みましょう。

- ② 自分が書いたUnit2の「アイデアスケッチ」を用意しましょう。

「家でよくする
過ごし方」は
何曜日かな？

- ① 5年生で「一日の生活」を表す言い方を学習しました。
右のQRコードを読み取り、音声を聞いたら、声に出してみましょう。

参考にして、自分の「家でよくする過ごし方」「宝物」を書こう。
灰色の線もていねいになぞりましょう。

- 家でよくする過ごし方

I usually play soccer on Sundays.
よくする過ごし方 よくする曜日

● 宝物

My treasure is a soccer-ball.

自分の「宝物」(ローマ字でもOK！)

- ③ 教科書P.86を開き、「Unit2わたしのせりふ」にていねいに書き写しましょう。

書き終わったら、声に出して読みましょう。

ここまで、よくがんばりました！



いつもしていることは always

よくしていることは sometimes を付けるんだったね！

ぶりかえり ○を付けましょう。

- ① 自分の「家でよくする過ごし方」「宝物」を英語で書けましたか。
(二つともいいね)に書けた ○ (つとも書けた) 一つだけ書けた・まだ書けていない
- ② 「わたしのせりふ」を声に出して読みましたか。
(ぱっちり読めた・ほとんど読めた・半分は読めた・まだ自信がない)

家庭学習プリント 音楽6年 東山小5/22版(①)

演奏のみよく パート1

解答例

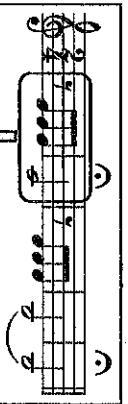
月 日 名前

♪ 教科書の14・15ページを見て取り組みましょう。

1. 「交響曲第5番『運命』第1楽章」について学びましょう。

(1) 作曲者は
ベートーベン

(2) 次のようなせん律から始まります。



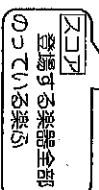
(原曲ほの\\風趣)

(3) この音型が、何度も出でます。15ページのスコアから見付けてみましょう。

まなびリンク

音楽に合わせて動画でスコアを確認することができます。

この音型が出てくるところに色が付けられています。



登場する楽器全部
のついている樂譜

☆ 曲全体を通して、この音型(| ♩ ♪ |)について気付いたことを書きましょう。

(例) この音型が何度も出でます。様々な楽器で追いかけるように続けて出てくることと、同時に重なって演そうされることがあります。リズムは同じでも、高さがどんどん変わっています。しばらく聞か空いた後にはこの音型が聞き取りやすく、その部分がとても印象的です。

2. オーケストラの楽器

15ページのスコアを見て「交響曲第5番『運命』第1楽章」で使われる楽器の名前を書きましょう。

木管楽器	金管楽器	打楽器	弦楽器
フルート	ホルン	ティンパニ	バイオリン
オーボエ	トランペット	ピオラ	チエロ
クラリネット		コントラバス	ファゴット

家庭学習プリント 音楽6年 東山小5/22版(②)

演奏のみよく パート2

解答例

月 日 名前

♪ 教科書の16・17ページを見て取り組みましょう。

1. 「ぼくらの日々」の曲の特徴をとらえましょう。

(1) 歌詞を読み、気が付いたことや感じ取ったことを書きましょう。

(略)

くことができます。
「交響曲第5番『運命』第1楽章」をきくことができます。

(2) 強弱の変化をとらえましょう。(読み方や意味については17ページにのっています。)

1(ウ)タタタタターニー!	できるらのを
① 口ずさんでみましょう。	<input type="radio"/>
② 手でリズムをうちましょう。	<input type="radio"/>

アの部分	m p	メッツ・ピアノ	少し弱く
イの部分	m f	メッソ・フォルテ	少し強く
イ-ウに向かう部分	-	クレシンド	だんだん強く
イ(きみがいること)	-	カウル	強く

まなびリンク 「ぼくらの日々」の作者のメッセージと歌をきくことができます。

♪ おうちで歌声カード
16・17ページの「ぼくらの日々」、6ページの「バナハ」などを歌いましょう。

① 音が高くなるような気

もちでピント立とう。

② 唇は上げずにリラックス!

③ 目はパッチリ!

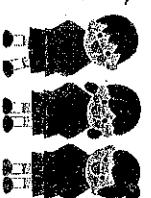
④ ほっぺを上げて!

⑤ 唇や口から、よいからりを

かくようにつってへ

⑥ 口の裏をあけよう

⑦ にっこりえがあで歌おう!



おながを使って歌うことができ
るかな。寝転んで息をすうと、
おなかがふくらんで、息が入ること
を感じることができますよ。

①～⑦に気をつけて歌うことができたか、○、△でチェックしよう。

月/日	歌った曲の名前	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	できたことや、 今度がんばりたいこと
ぼくらの日々	○	○	○	○	○	○	○	○	山の山に向かってだんだん強くして いくことができる。
バナハ(6ページ)	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 歌うときには、人がいない方向をむいたり、かん気をしたりするなど、気をつけて行きましょう。

家庭学習プリント 普通6年 東山小学校版(3)

あさせ楽器名人 パート1 解答例

月 日 名前

解答例

② いためる調理の計画を立てよう。

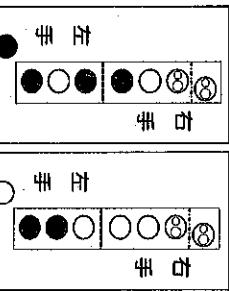
- ① いためる調理によって、色、かたさ、かきなどは、生の状態と比べて、どのように変化しますか。教科書69ページを見たり、実際に調理したり、本やインターネットで調べたりして書きましょう。

(1) リコーダーで演そうするときにふさぐ
あなたに色をぬりましょう。



(2) 演そうする順番にア～カを並べましょう。

ア→イ→ウ→エ→ウ→オ→ア→ト→カ



(3) それぞれのパートを階名で歌いましょう。

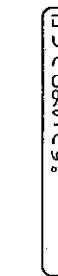
歌うことができたら□に○をつけましょう。

教科書に階名を書いてから
行つてもよいです。

1のパート



2のパート



(4) 次のめあてを意識してくり返し演そうし、

○○△でチェックしてみましょう。
書きましょう。

1のパート

めあて

6/2 6/4 6/8

- ① 正しい音程で演そうする。
○ ○ ○
- ② 息のふきこみ方ヒタンギングに気を付ける。
○ ○ ○
- ③ 2のパートを意識して演そうする。
△ ○ ○

2のパート

めあて

6/4 6/8 6/10

- ① 正しい音程で演そうする。
○ ○ ○
- ② 息のふきこみ方ヒタンギングに気を付ける。
○ ○ ○
- ③ 1のパートを意識して演そうする。
△ ○ ○

東山小学校版(4)

家庭学習プリント [6年家庭科 朝食から健康な1日の生活を②]

組 番 名前

② いためる調理についてまとめよう。

- ① いためる調理によって、野菜や卵のいためるときと同様に、(やわらかく)なる。ゆでるときと同じように(かき)の減る野菜もあり、生の状態よりも多く食べられる。

野菜は、弱火でいためるとき(水分)が出来てしまう。

- ③ 数種類の野菜を組み合わせていためるとき、どのようなことに気を付けるといですか。当てはまるものを○でかこましょ。
- 切るときは、大きさや大きさを(そろえる)。そろえなくてよい。
 - 火の通りにくい野菜は、(うすく)・厚く切る。
 - 全てまとめて・火の通りにくいものから)いためる。

- これがさないために、(弱火でじっくり)・(強火で手早く)いためる。

東山小5/22版⑯

(2) 教科書 68~69 ページを参考にして、栄養のバランスを考えた、いためる調理の計画を立てましょう。

* 安全に気を付けて、家の人いるときに調理しよう。

* アレルギーがあったり、材料や用具がそろわなかったりするときは、表の人と相談して、他の物を使いましょう。

実習日	月 日()	料理名	いろいろいため
時間	時間	調理の手順	
0	準備する <手順> ○洗い方	・身支度・手洗い・材料・用具・食器 ・にんじんとピーマンは軽くこすって洗い、水で流す。 ・ピーマンのへたのつけ根はよく洗う。 ・たまねぎは皮をむいて頭と根を切り落とし、洗う。	
1	調理する	・ボウル、ざる、包丁、まな板、フライパン ・切った材料を入れておく器、フライ返し、計量スプーン、器、はし、 ・油を拭き取る布(または紙) ・食器用洗剤、スポンジ、生ごみ入れ、ごみぶくろなど	

東山小5/22版⑯(最終)

④味の付け方

- 塩、こしょうを加えてよく混ぜ、火を消す。

- 盛りつけ後の餘をかいだり、写真をはつたりしましょう。

試食する・かたづける

油よごれは、不用な布や紙でふき取ってから流す。

振り返る

調理のポイント(野外に合ったためかや味の付け方が)

- 例:にんじんは、やわらかい方が好きなので、少し長めにいためる。など
・玉ねぎは、よく火を通してあまくしたい。長時間いためると水分が出てしまうと学習したので、できるだけ早く切る。
・ピーマンはシャキシャキしているほうが好きなので、ハムと一緒にフライパンに入れて、いためる時間を短くする。
・バターを使うので、塩は少なめにする。(バターの風味を味わう)

実習を振り返って

チェックしよう(よくできた○、できなかった△)

- ・衛生に気を付けて、調理することができた。
- ・用具を正しく使って計量することができた。
- ・包丁を安全にあつかうことができた。
- ・それぞれの食品を計画通りに切ることができた。
- ・ガスこんろを安全に使うことができた。
- ・どの材料にも躊躇なく火が通るようにいためることができた。
- ・強めの火力で短時間でこがさずに、いためを作ることができた。
- ・ちようどよい味付けのいろいろいためを作ることができた。
- ・環境のことを考えて、かたづけることができた。

よりよいいためる調理の仕方について、気づいたことや考え方を書きましょう。

- ・にんじんはかたくて切りにくかった。火が通るのにとても時間がかかるので、もつとすく切らなければいけないことが分かった。
- ・強火で熱したフライパンにバターを入れると、勢いよく溶けて、こげてしまつた。はじめは弱火でじっくりバターを溶かして、にんじんがやわらくなるまでいためた方がよいかもしない。
- ・フライパンにバターを入れて温め、全体にいきわたせる。(中火)
- ・強火にして、にんじんを少しあわらくなるまでいためる。
- ・たまねぎ、ピーマン、ハムを順番に入れていためる。